証券コード：4182

第88期 中間報告書

2014年4月1日 → 2014年9月30日

CONTENTS

ごあいさつ…… 1
連結業績ハイライト…… 2
事業別営業概況…… 3
トピックス…… 5
連結財務諸表…… 7
株式の概要…… 9
会社概要…… 10
株式についてのご案内……裏表紙

三菱ガス化学株式会社

ごあいさつ

株主の皆様には日頃よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第88期第2四半期連結累計期間（2014年4月1日から2014年9月30日まで）の事業活動についてご報告申し上げます。

代表取締役社長
倉井 敏磨

当第2四半期連結累計期間（2014年4月1日～2014年9月30日）のわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や輸出の伸び悩みがありましたが、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

当社グループにおきましては、事業構造改革に伴い高純度イソフタル酸などの汎用芳香族化学品の販売数量が減少したものの、メタノールの販売価格上昇やエンジニアリングプラスチックスの販売数量増加などにより、増収となりました。

営業利益は、円安により輸出採算が改善したものの、半導体向けハイブリッドケミカルや電子材料、汎用化学品などの採算悪化により、減益となりました。

経常利益は、営業利益が減少したものの、海外メタノール生産会社に係る持分法利益が、年初の市況高騰や円安などの影響により増加したことから、増益となりました。

以上の結果、売上高2,678億円（前年同期比14億円増（0.5％増））、営業利益63億円（前年同期比38億円減（37.8％減））、持分法利益177億円（前年同期比59億円増（50.3％増））、経常利益239億円（前年同期比22億円増（10.4％増））、四半期純利益215億円（前年同期比28億円増（15.5％増））となりました。

株主の皆様には引き続きご支援、ご鞭撻を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

2014年12月

中期経営計画 「MGC Will2014」

【グループビジョン】

MGCグループは全ての事業活動においてCSRの実践を徹底し、グローバルな舞台で「独自技術に立脚した特色と存在感のある優良化学会社」として、持続的成長を目指します。

【基本方針】

1. 中核事業の強化
2. 不採算事業の再構築
3. 新規事業の創出と育成の加速
4. 持続的成長を支える＜質＞の向上

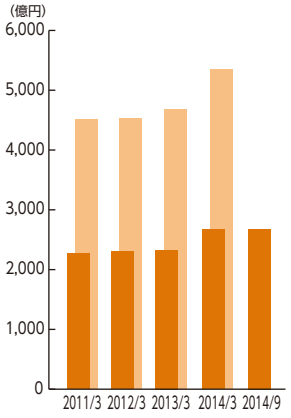
連結業績ハイライト

（単位：百万円）

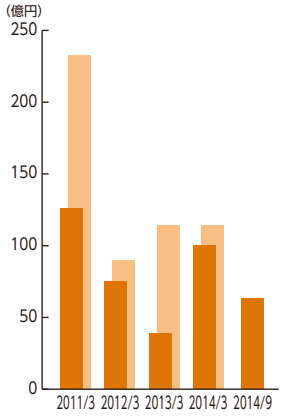
	当第2四半期（累計） 2014年4月1日～ 9月30日	前第2四半期（累計） 2013年4月1日～ 9月30日	前期 2013年4月1日～ 2014年3月31日
売上高	267,861	266,444	534,443
営業利益	6,308	10,148	11,486
経常利益	23,953	21,701	30,804
四半期（当期）純利益	21,508	18,625	14,921
1株当たり四半期（当期）純利益（円）	47.62	41.23	33.03

※当社及び国内連結子会社の売上計上基準について、従来、主として出荷基準によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、主として検収基準に変更しております。当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値で前年同期及び前連結会計年度末との比較を行っております。

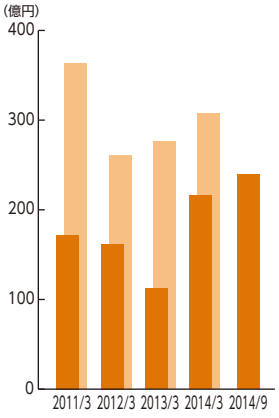
■ 売上高



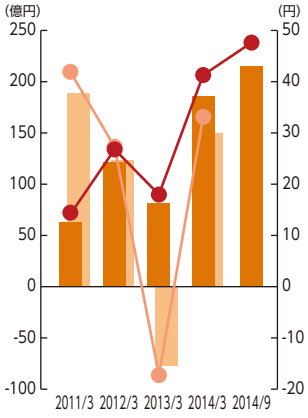
■ 営業利益



■ 経常利益



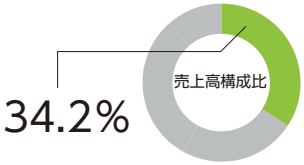
■ 四半期（当期）純利益／1株当たり四半期（当期）純利益

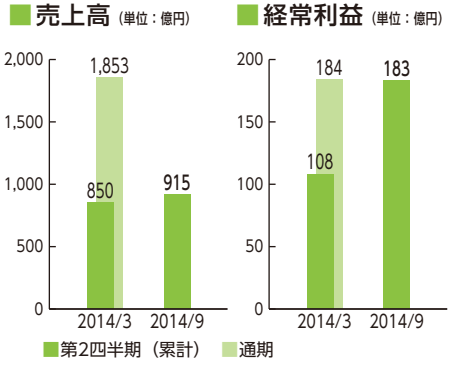


■第2四半期（累計） ■通期 ●1株当たり四半期純利益 ●1株当たり当期純利益

事業別営業概況

(2014年4月1日～2014年9月30日)





天然ガス系化学品事業

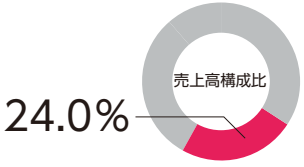
主要製品
メタノール、アンモニア、メチルアミン、MMA、多価アルコール　等

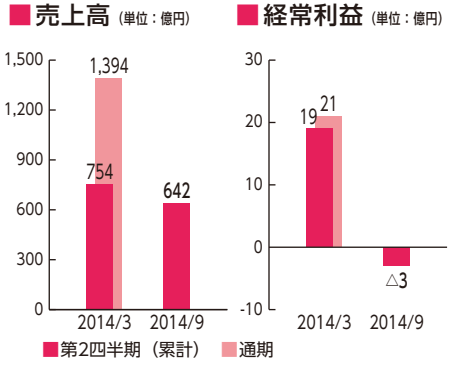
メタノールは、販売価格が上昇したものの、仕入販売の採算が悪化したため、増収減益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、定期修繕実施に伴うアンモニアの修繕費増加や、MMA系製品やポリオール類の採算悪化などにより、減益となりました。

原油その他のエネルギー販売は、原油販売価格は上昇したものの、固定費の増加により、増収減益となりました。

以上の結果、売上高915億円（前年同期比64億円増（7.6%増））、営業利益6億円（前年同期比13億円減（67.5%減））となりました。また、海外メタノール生産会社を中心とする持分法利益を179億円計上した結果、経常利益は183億円（前年同期比74億円増（68.7%増））となりました。





芳香族化学品事業

主要製品
メタキシレン、メタキシレンジアミン、MXナイロン、芳香族アルデヒド、高純度イソフタル酸　等

特殊芳香族化学品は、無水ピロメリット酸など不採算事業の撤退により減収となりましたが、撤退により損益が改善したことに加え、円安によるメタキシレンジアミンなどの輸出採算の改善もあり、増益となりました。

汎用芳香族化学品は、メタキシレンや高純度イソフタル酸の販売数量減少に加え、無水フタル酸や高純度テレフタル酸の採算が悪化したことなどから、減収減益となりました。

以上の結果、売上高642億円（前年同期比112億円減（14.8%減））、営業利益15億円（前年同期比5億円減（26.5%減））となりました。また、高純度テレフタル酸の事業撤退決定などに伴う持分法損失14億円の計上などにより、経常損失は3億円（前年同期比22億円悪化）となりました。

機能化学品事業

主要製品
過酸化水素、電子工業用薬品、ポリカーボネート樹脂、ポリアセタール樹脂　等

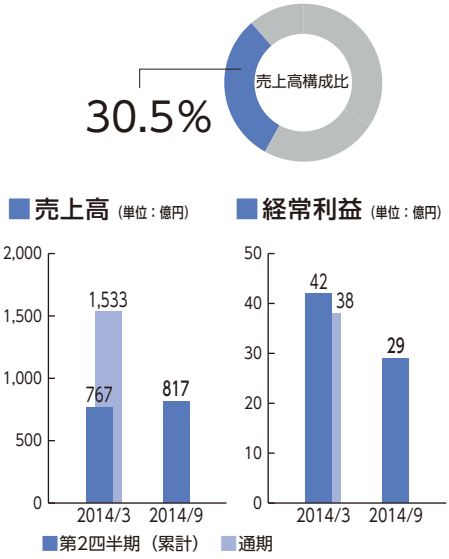
工業用無機薬品類は、過酸化水素の採算悪化やレンズモノマーの販売数量減少などにより、減益となりました。

電子工業用薬品類は、半導体向けハイブリッドケミカルの採算が悪化したことから、減収減益となりました。

エンジニアリングプラスチックスでは、ポリカーボネートが、販売数量増加により増収となり、前期の減損損失計上により減価償却費が減少したことなどから、損益が改善しました。一方で、ポリアセタールは、販売数量が増加したものの、原料メタノール価格の上昇や増設に伴う固定費の増加により、増収減益となりました。

ポリカーボネートシート・フィルムは、ハードコートシートなどの販売数量減少により減収となりましたが、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの販売数量増加と減価償却費の減少により、増益となりました。

以上の結果、売上高817億円（前年同期比50億円増（6.6%増））、営業利益32億円（前年同期比5億円減（13.9%減））、経常利益29億円（前年同期比13億円減（31.5%減））となりました。



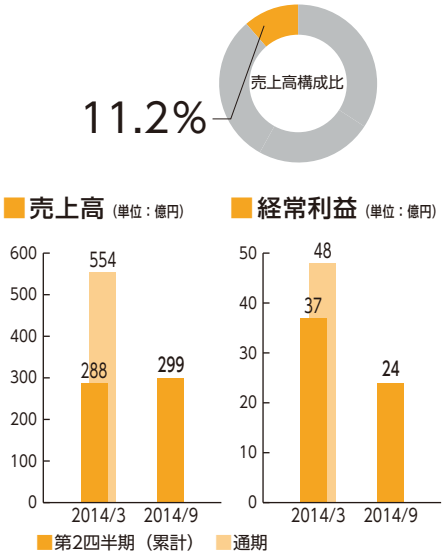
特殊機能材事業

主要製品
プリント配線板用材料、脱酸素剤　等

電子材料は、半導体パッケージ向けBT材料の需要が好調に推移したものの、タイ第2拠点の営業運転開始に伴う固定費の増加などにより、増収減益となりました。

「エージレス®」などの脱酸素剤は、消費税率引き上げなどにより国内食品用途の販売数量が減少したことから、減収減益となりました。

以上の結果、売上高299億円（前年同期比11億円増（3.9%増））、営業利益22億円（前年同期比11億円減（34.5%減））、経常利益24億円（前年同期比12億円減（32.9%減））となりました。



その他の事業

不動産業など

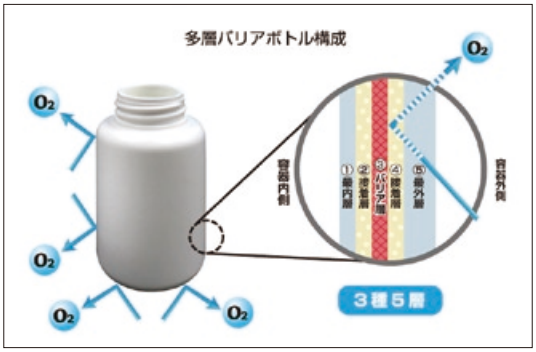
その他の事業の売上高は2億円（前年同期比0億円減（9.0%減））、営業利益は1億円（前年同期比0億円増（21.3%増））、経常利益は8億円（前年同期比0億円減（4.5%減））となりました。

製品紹介

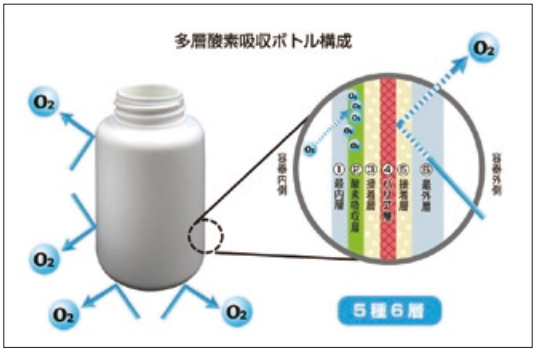
1 医薬品・サプリメント用の各種機能性ボトルを開発

医薬品やサプリメント等の劣化を防ぐ機能性ボトル「オキシバリア®」「オキシヴァニッシュ®」を開発しました。

「オキシバリア®」は固形製剤などの劣化原因となる酸素の侵入を防ぐことのできる樹脂製ボトルです。従来の一般的な樹脂容器では酸素の侵入を防ぐことができない為、酸化が課題となる医薬品の保存容器にはガラス瓶が用いられてきました。「オキシバリア®」は樹脂の特長である軽量で破損リスクが低い点と、高いガスバリア性から、ガラス瓶の代替材料として期待されています。また、脱酸素剤を併用することでボトル内の酸素濃度を低く保ち、医薬品やサプリメントの長期にわたる品質保持効果も期待されています。



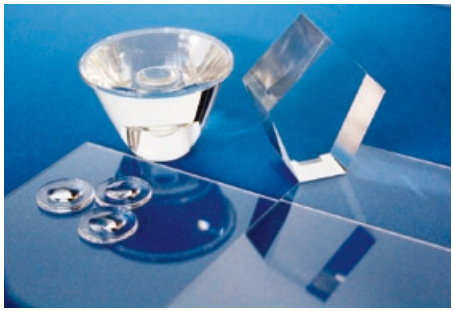
「オキシヴァニッシュ®」は、ボトル自体が酸素吸収機能とガスバリア機能を持ち、外部から侵入する酸素を遮断するとともに、密閉容器内の酸素を吸収し、内容物の劣化を防ぐことのできる樹脂製ボトルです。ボトルに脱酸素剤を封入する必要がなくなるため、医薬品メーカーやサプリメントメーカーの手間が省けるほか、脱酸素剤の封入漏れリスクをなくせること、エンドユーザーによる脱酸素剤の誤飲を防ぐことができることなどのメリットがあります。



これらの製品は展示会でも好評を得ており、既にサンプル出荷を開始しています。引き続き顧客のニーズに応えながら、早期の事業化を目指します。

2 特殊アクリル樹脂「Optimas®」

「Optimas®」は、アクリル樹脂の特長である高い透明性、低複屈折性、高耐候性、高硬度などを維持したまま、これまでアクリル樹脂の欠点とされてきた耐熱性、吸水性を大幅に改善した樹脂です。ディスプレイ部品や車載部品（各種レンズ、内装部品など）への採用が進んでおり、来春にはさらに耐熱性を高めた新製品を上市する見通しです。今後は、導光体、サイネージ、LED照明部材など幅広い用途への採用を目指し、拡販を進めます。



3 CSRレポート2014を発行しました

当社の概要やCSR（企業の社会的責任）活動について、ステークホルダーの皆様にお伝えし、ご理解いただくことを目的として、本年もCSRレポートを発行しました。

今年度はトップインタビューを拡充したほか、多岐にわたるMGCの製品が社会の中でどのように役立っているかを紹介するページを設け、より多くの読者の皆様に親しみを持っていただけるようにしました。

ご一読いただき、ご意見・ご感想をお寄せいただけますと幸いです。

http://www.mgc.co.jp/csr/environment/pdf/csrr.pdf

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

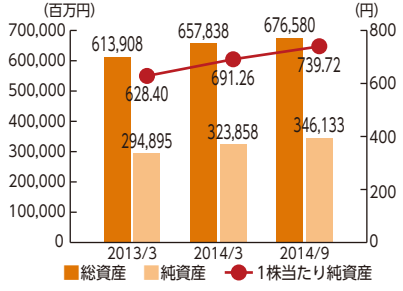
(単位：百万円)

科　　目	当第2四半期 (2014年9月30日現在)	前期 (2014年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	**299,462**	**287,642**
現金及び預金	41,297	38,772
受取手形及び売掛金	127,035	127,817
有価証券	15,130	2,130
たな卸資産	97,935	99,192
その他	18,063	19,729
固定資産	**377,117**	**370,195**
有形固定資産	**190,283**	**191,311**
建物及び構築物	60,616	59,279
機械装置及び運搬具	72,907	71,637
その他	56,759	60,394
無形固定資産	**3,101**	**3,169**
投資その他の資産	**183,732**	**175,714**
投資有価証券	176,501	167,296
その他	7,231	8,417
❶ **資産合計**	**676,580**	**657,838**

(単位：百万円)

科　　目	当第2四半期 (2014年9月30日現在)	前期 (2014年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	**186,204**	**178,897**
支払手形及び買掛金	78,849	71,665
短期借入金	75,834	75,859
その他	31,519	31,372
固定負債	**144,242**	**155,081**
長期借入金	72,545	83,481
その他	71,696	71,600
❷ **負債合計**	**330,446**	**333,979**
(純資産の部)		
株主資本	**328,725**	**309,277**
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,595	35,595
利益剰余金	259,284	239,831
自己株式	△8,124	△8,119
その他の包括利益累計額	**5,385**	**2,949**
その他有価証券評価差額金	14,958	11,384
土地再評価差額金	206	206
為替換算調整勘定	△8,652	△7,305
退職給付に係る調整累計額	△1,127	△1,337
少数株主持分	**12,022**	**11,632**
❸ **純資産合計**	**346,133**	**323,858**
負債・純資産合計	**676,580**	**657,838**

■ 総資産／純資産／1株当たり純資産



❶資産合計

有価証券や現金及び預金が増加したことなどにより、前期末に比べて増加しました。

❷負債合計

借入金の減少などにより、前期末に比べて減少しました。

❸純資産合計

四半期純利益の計上などにより、利益剰余金が増加したことなどから、前期末に比べて増加しました。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科　　目	当第2四半期(累計) (2014年4月1日から 9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2013年4月1日から 9月30日まで)
❹ 売上高	**267,861**	**266,444**
売上原価	231,134	225,454
販売費及び一般管理費	30,418	30,841
❺ 営業利益	**6,308**	**10,148**
営業外収益	20,651	14,788
営業外費用	3,006	3,234
❻ 経常利益	**23,953**	**21,701**
特別利益	2,185	175
特別損失	2,139	518
税金等調整前四半期純利益	**23,999**	**21,358**
法人税等	1,951	2,422
少数株主利益	540	311
四半期純利益	**21,508**	**18,625**

❹売上高

メタノールの販売価格上昇やエンジニアリングプラスチックスの販売数量増加などにより、前年同期に比べて増収となりました。

❺営業利益

円安により輸出採算が改善したものの、半導体向けハイブリッドケミカルや電子材料、汎用化学品などの採算悪化により、減益となりました。

❻経常利益

海外メタノール生産会社に係る持分法利益が、年初の市況高騰や円安などの影響により増加したことから、増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科　　目	当第2四半期(累計) (2014年4月1日から 9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2013年4月1日から 9月30日まで)
税金等調整前四半期純利益	23,999	21,358
減価償却費	11,574	11,407
持分法による投資利益	△17,797	△11,842
持分法適用会社からの 配当金の受取額	13,192	7,486
運転資金等	10,114	△12,578
法人税等の支払額または還付額	△654	△177
営業活動によるキャッシュ・フロー	**40,429**	**15,653**
設備投資資金等	△8,629	△16,529
投融資資金等	1,052	△78
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△7,576**	**△16,608**
借入金・社債増減額等	△13,496	4,262
配当金支払額	△3,124	△3,184
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△16,621**	**1,078**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**1,358**	**3,381**
現金及び現金同等物の増減額	**17,590**	**3,505**
現金及び現金同等物の期首残高	**37,310**	**26,907**
連結子会社の決算期変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	**373**	**430**
現金及び現金同等物の四半期末残高	**55,274**	**30,843**

株式の概要

(2014年9月30日現在)

発行可能株式総数 984,856,000株

発行済株式の総数 483,478,398株

株主数 24,714名

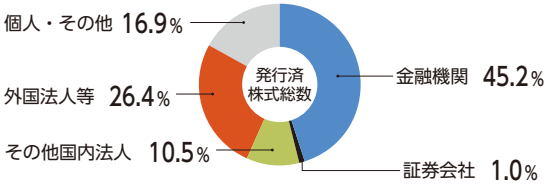
上場取引所 東京証券取引所第一部（証券コード：4182）

大株主

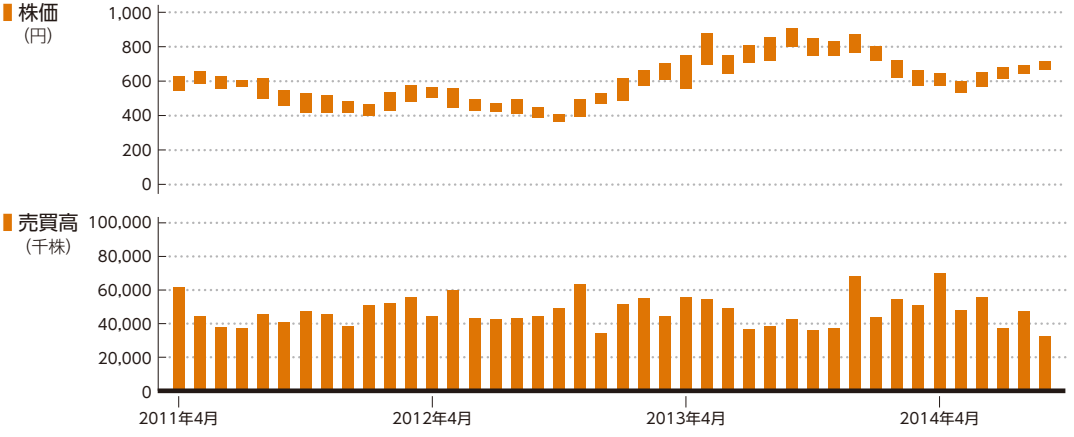
株主名	持株数（千株）	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	26,900	6.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	25,361	5.6%
日本生命保険相互会社	19,125	4.2%
明治安田生命保険相互会社	16,795	3.7%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	16,320	3.6%
全国共済農業協同組合連合会	14,069	3.1%
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,611	3.0%
農林中央金庫	10,053	2.2%
旭硝子株式会社	9,671	2.1%
三菱UFJ信託銀行株式会社	8,570	1.9%

(注) 1. 当社は自己株式を31,808千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株価等の状況



会社概要

(2014年9月30日現在)

社　　名 三菱ガス化学株式会社
(登記商号：三菱瓦斯化学株式会社)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

本　　社 〒100-8324
所 在 地 東京都千代田区丸の内二丁目5番2号　三菱ビル

創　　業 大正7　(1918) 年1月15日

設　　立 昭和26 (1951) 年4月21日

資 本 金 419億7千万円

従業員数 2,432名 (連結：5,521名)

事 業 所 営業所：大阪支店
研究所：東京テクノパーク (東京研究所、MGC分析センター)、新潟研究所、平塚研究所
工　場：新潟工場、水島工場、四日市工場、山北工場、鹿島工場

役　　員

代表取締役会長	酒井和夫	取締役常務執行役員	城野正博	執行役員	岩切常昭	理事	石和田　彰
代表取締役社長	倉井敏磨	取締役常務執行役員	稲政顕次	執行役員	藤井政志		
代表取締役専務執行役員	渡邉哲志	取締役社外	二瓶好正	執行役員	設楽琢治	監査役常勤	大矢邦夫
代表取締役専務執行役員	酒井幸男			執行役員	久保田千春	監査役常勤	畑　　仁
取締役常務執行役員	杉田克彦	執行役員	阿部崇文	執行役員	水上政道	監査役常勤・社外	木村高志
取締役常務執行役員	山根祥弘	執行役員	吉田　晋	執行役員	高木俊哉	監査役非常勤・社外	松山保臣
取締役常務執行役員	河　邦雄	執行役員	尾登主佳	執行役員	稲荷雅人		
取締役常務執行役員	林　勝茂	執行役員	佐藤康弘	執行役員	香坂　靖		

連結子会社 (40社)

木江ターミナル㈱
㈱東京商会
日本サーキット工業㈱
日本パイオニクス㈱
㈱日本ファインケム
菱江化学㈱
菱和エンタープライズ㈱
MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE. LTD.
MGCエレクトロテクノ㈱
海洋運輸㈱
エーアンドシー㈱
東洋化学㈱
MGCフィルシート㈱
永和化成工業㈱
三永純化㈱
MGC PURE CHEMICALS AMERICA, INC.
THAI POLYACETAL CO., LTD.
MITSUBISHI GAS CHEMICAL AMERICA, INC.
菱陽商事㈱
PT PEROKSIDA INDONESIA PRATAMA
共同過酸化水素㈱
国華産業㈱
フドー㈱
㈱フドーテクノ
米沢ダイヤエレクトロニクス㈱
エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル㈱
MGC ADVANCED POLYMERS, INC.
MGCファイナンス㈱
太陽産業㈱
ポリオールアジア㈱
MGC PURE CHEMICALS SINGAPORE PTE.LTD.
巨菱精密化学股份有限公司
三菱瓦斯化学工程塑料 (上海) 有限公司
蘇州菱蘇過酸化物有限公司
岩井海運㈲
KSK (PANAMA) CORP.
GLORIOUS & KSK (PANAMA) S.A.
VIGOROUS & KSK (PANAMA) S.A.
COURAGEOUS & KSK (PANAMA) S.A.
MGC ELECTROTECHNO (THAILAND) CO., LTD.

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL： http://www.mgc.co.jp/ir/public_notices/
1単元の株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話（0120）232-711（フリーダイヤル）

ホームページではさまざまな情報がご覧いただけます。

http://www.mgc.co.jp/

株式に関するお問い合わせ先

1）株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等の各種お手続きにつきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

2）特別口座に記録された株式に関する各種お手続き、支払期間経過後の配当金受取、郵送物の発送等につきましては、上記三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

【税制変更のお知らせ】

税制変更に伴い、当社のお支払いする配当金に係る源泉徴収税率が昨年までと変わりました。

①軽減税率の特例廃止
上場株式等の配当等に係る軽減税率の特例が廃止され、平成26年1月1日より本則税率20%（所得税15%、住民税5%）に戻りました。

②復興特別所得税
復興特別所得税として平成25年1月1日から平成49年12月31日までの所得税額に2.1%を乗じた額が追加で課税されます。

左記により、平成26年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率は以下のとおりとなります。

	平成25年1月1日 ～平成25年12月31日	平成26年1月1日 ～平成49年12月31日
所得税	7%	15%
復興特別所得税	0.147%※	0.315%※
住民税	3%	5%
合計	10.147%	20.315%

※7%×2.1%=0.147%、15%×2.1%=0.315%

本ご案内は、上場株式等の配当等に係る復興特別所得税等について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問い合わせください。

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK